なぜ女性たちは 々とイスラ ムに改宗しているのか

:

明:

イスラ ムがメディアによる攻 的な露出に晒され、イスラ ムにおける女性の地位が昨今において特に 念されている一方で、それが世界で最も信者数を伸ばしている宗教であることは きに するかも知れません。そして皮肉なことに、イスラ ム改宗者の大半は女性なのです。

目: 事新改宗者ムスリムの逸 女性

より: Reading Islam

日02 Dec 2013

集日 02 Dec 2013

社会における女性の地位は、新しい　ではありませんし、完全に解 されたものでもありません。そしてイスラ ムについて言及されると、多くの人々にとって「ムスリム女性」という言 からは、台所につながれて酷使された母 といった印象が抱かれる、抑 の「被害者」であり、西洋化されなければならない存在なのです。また他者は、いかにヒジャ ブ（イスラ ム的ベ ル）が障害であり、女性たちの心を らせているかについて延々と述べ ね、女性改宗者は洗 されているか、 が いか、女性という性 における 切り者のどれかであるなどと 言されたりします。私はそれらの言いがかりをつき返し、彼らに次のことを逆に　したいと思います。なぜ、欧米社会のいわゆる「文明化」された地域で生まれ育った多くの女性たちは、彼女たちのいわゆる「自由」と「独立」を て、女性に して抑 的 偏 的であると なされている宗教を受け入れたりするのでしょうか?

私は、キリスト教からのイスラ ムへの改宗者として、非ムスリムと比 された には完全に独特であり、女性に地位を与え、解放する唯一の宗教のために、その社会において存在すると主 される「自由」を てた理由を、自らの 人的　に基づいた理由を共有したいと思います。

私はイスラ ムを受け入れる以前、 いフェミニスト的 向を持っており、そこには多くの女性 が 在 行形で存在していることの に めていました。新しい女性 は、それ以前のものが 足に解 される前に提起されていました。私と同じような背景を持つ女性たちのように、私はイスラ ムを性差 主 であり、男性により大きな 利を授ける差 的 抑 的宗教であると非 していました。これらすべては、 知によって盲目となったため、意 的に歪められた定 を受け入れた、全くイスラ ムを知らない人物から来ていたのです。

しかしながら、イスラ ムを批判しておきながら、私は女性としての自らの社会的地位について 足してはいませんでした。私にとってはあたかも、社会は「解放」や「自由」といった用 を定 付けておきながら、それらの定 は女性たちによって や挑 されることなく受け入れられていたかのようでした。女性たちが理 として教えられてきたことと、 的に起きていることの には、明白に大きな矛盾があったのです。

考えれば考えるほど、私は自分の中に空虚さを感じました。私は徐々に、自分の女性としての社会的地位に する不 は、 には自分の持っている、社会そのものに する不 の反映であることを理解する段 に到 しつつありました。1990年代は成功と繁 の 代になると主 されていたにも わらず、すべては退化しつつあるかのように えました。何か めて重要なものが欠落しており、その空白を埋めるものは何も いという に感じていました。キリスト教徒であることは私にとって何の役にも立たず、 に一度、日曜日にだけ神を思い出すことの正当性を疑 するようにもなりましたし、他の多くのキリスト教徒たちと同 、私も教会の 善に幻 し、三位一体 とイエスの神格化にもどんどん 足出来なくなっていきました。やがて、私はイスラ ムに目を向け始めました。当初、私は女性に するに目を通すことだけしか考えていませんでした。私は 愕しました。私が み、学んだことは、女性としての私について多くを学ばせ、女性への真の抑 がどこから来るのかを付かせました。それは、イスラ ム以外のすべての制度と生き方から来ていたのです。ムスリム女性は宗教におけるあらゆる 面において 利を与えられており、男性と同 、社会における役割も、全くの不正もなく明 に定 されています。アッラ はこのように述べています。

“??”??????4?124?

イスラ ムにおける女性の真の地位についての 解を改めることの出来た私は、前に めるようになりました。私は人生における空白を埋めることの出来るものを求めるようになりました。私はイスラ ムの信条と 践について注目するようになりました。基本を 立することを通して、私はどこに目を向け、何を 先すべきかを理解するようになりました。これらは通常、社会において殆ど注目も もされない分野であり、イスラ ムの信条を学ぶことによって、なぜそうなのかが明白になります。そのような かつ非の打ち所のない包括的な は、他のどこからも いだすことが出来ないのです。

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1704

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。